

第31回 アジア太平洋地域 スカウトジャンボリーに!



モンゴル指導者と仲良く写真!



ゲルで馬頭琴を聞く

1-1. モンゴルの大草原で

草津第17団 ベンチャー隊 菱田 和花

私は今回モンゴルのAPRジャンボリーに参加しました。自己紹介や発表用のソーラン節を練習し、いざモンゴルへ。ジャンボリーではプログラムと文化交流をしました。プログラムでは馬に乗ったり、馬頭琴を弾いたりしました。モンゴルのことを深く知ることができ楽しかったです。文化交流ではオーストラリアの人とご飯を食べながら交流したり、多くの人と自分の国の物を交換したりしました。最初は緊張してあまりしゃべることができませんでしたが、スンドリアという友達が毎日会いに来てくれて、積極的にしゃべることができました。ただ簡単な英語での会話なので、深いことまではしゃべれませんでした。

た。このことから、英語の勉強をして言語の壁を越えて海外の人と語り合えるようになりたいと思いました。

セレモニーではモンゴルの伝統の歌い方であるホーミーを聞くことができました。海外の人はテンションが高く、知らない人同士でも肩を組みあって、歌ったりダンスをしたりで楽しかったです。アリーナ発表ではソーラン節を披露し、歓声を浴びてとても気持ち良かったです。海外の人と一緒に盛り上がることはなかなかできない事だと思うので、貴重な体験をすることができたと思っています。言語の壁を越えて海外の人とダンスしたり、盛り上がったたり、友達になったりすることができて楽しかったです。その場だけでなく、ずっと続く友達でいられるようにしたいです。



新しいスカウティングアメリカジャンボリー2017

2-1. なんでもBIGなアメリカ!

草津第17団 団委員長 嶋田 寛



ボルダリング



1kmのBIG ZIP



「SASUKE」みたいな水プログラム

アメリカジャンボリー2017には、1キロに及ぶZIPラインや「SASUKE」のような水プログラムなど、まるで大型テーマパークのようなプログラムがありました。県連などの活動では絶対に体験できないものです。

期間中はバディを通じて自分の能力を高めること、そしてユースプロジェクト*によって裏打ちされた指導者とスカウトで連携をとることが重要視されていました。生活面では、上級班長や指導者の細やかな対応で快適にキャンプ生活を過ごせました。また食事担当の体験から、給仕や運営手順について学べたことはもちろん、多様性への理

解と配慮も身に付けられてよかったです。撤営は早朝3時からでしたが、ごみ処理施設や備品収納の勝手の良さのおかげで、5時には準備を終えられました。

みなさんも、ぜひ2019年のスカウトジャンボリーに参加して、スケールの大きな常設キャンプを楽しんでほしいです。今回ご支援頂いた皆様、本当にありがとうございました。

*アメリカ連盟の提唱する青少年安心安全保護プログラム



韓国CJK*ベンチャープロジェクト

3-1. 「クールジャパン」を発信!

大津第12団 ベンチャー隊 松本 匠太郎

私は韓国のテグ市で開催された、平成29年度CJKベンチャープロジェクト派遣に参加しました。期間中の様々なプログラムの中で、私はジャパンナイトでの出来事が記憶に残っています。

ジャパンナイトの催し物を考える中で、改めて日本の文化を知ることができて良かったです。当日は茶道や書道を紹介しましたが、台湾や韓国の人たちが上手にできていて驚きました。

外国の人たちと英語で会話しようとしても、上手に話せないこともありました。しかし身振り手振りや、気持ちを込めた日本語で意思が伝わることもありました。勉強して英語力を身につけることも大切ですが、時には自分の意思を伝えようとする気持ちの方が重要であることを知りました。

日本派遣団のみんなはもちろん、海外の派遣団の人たちとも仲良くなれて良かったです。今もSNSで繋がっていて、情報交換をして楽しんでいます。執筆中の現在、日本は夏休みですが、みんなは学校に通っているそうです。そんなちょっとした情報から文化の違いが見えて面白く思います。

今回のCJKの経験を活かし、自分のコミュニティを、そしてボーイスカウトの輪を広げていきたいです。



仲良くなりました!

*日本と隣国である台湾連盟と韓国連盟のベンチャースカウト（高校生年代）による協働事業



お抹茶をたてる



お祭り気分!

三指

日本ボーイスカウト滋賀連盟は、2019年創立70周年を迎えることになりました。シンボルマークのようにボーイスカウト運動を広く展開してまいります。皆様のご協力をお願いいたします。

弥栄





富士特別野営ファイナル大会

■ 4-1. 富士のふもとで成長、成長！

犬上第1団 ローバー隊 川西 翔輝

前大会は参加できなかったが、今回は支援者としてとてもいい経験がすることができました。特に印象に残っている活動は1泊ハイクです。ベンチャースカウトが行う一泊ハイク下見でした。ハイク1日目は大平山、平尾山、石割山を登った後、二十曲峠など各チェックポイントを実際に辿り、本番の立ち位置や注意点、トランシーバーがつかがるかどうかなどを確認しました。夜には本番同様ピバークを実施、初めてでしたが、一度やってみてよかったこともあって、いい経験でした。2日目は忍野八海など調査しながら山中湖へと向かいました。山中湖では筏を製作し山中湖横断をしました。これも初めての経験で、とても楽しくできてよかったです。野営場に帰着後、会議を行い本番の確認を行いました。そして、いよいよ本番の朝、野営場からベンチャースカウトを送り出してから野営場に帰ってくる翌日まで本当に心配でしたが、全員が無事にゴールすることができ良かったです。他に様々な活動がありましたが、すべての経験が自身のためになると思いました。今回学べたことを今後のスカウティングに生かしていきたいです。またプログラム班をはじめ、様々な方にお世話になりました。感謝の心を忘れずにこれからも頑張りたいと思います。

■ 4-2. 班で結束して乗り切った一週間

犬上第1団 ベンチャー隊 大塚 蒼

私は、この富士特別野営2017に「今までに経験したことのない高度な野外活動ができるので目一杯楽しもう」という目標をもって参加しました。

丸太で三脚信号塔を作ったときは私を含め、作り方がわかる人や班長が中心となって声を掛け合いながら作成しました。豪雨によって作業がいったん中止になり完成に二日かかったものの、塔が自立した時は皆で拍手をして喜びました。1泊2日のピバークでは、指定の場所でイカダを組み山中湖を渡りました。雨でテンションが下がり気味でしたが力を合わせてイカダを漕ぎ、対岸へたどり着きました。そのまま山を登り野営地を目指して歩きました。途中で班員がダウンしましたが、22時頃に無事に野営地に到着し、翌日も歩いて山中野営場に帰りました。

様々なアクシデントに遭いましたが班員同士で歌いながら乗り越え、とても楽しい有意義な一週間が送れました。両親や団、県連盟の方々、たくさんの支援のおかげで参加させていただきました。ありがとうございました。



敬礼



大切な仲間です

■ 4-3. レベルアップを実感

大津第4団 ベンチャー隊 谷口 奏子

この度、富士特別野営2017に参加してきました。6泊7日という長期キャンプで、プログラムも高度、さらに全日程が雨天という厳しいものでしたが、心強い仲間が存在もあって毎日楽しく快活に過ごせました。終わってみるとむしろ短く感じるほど一日一日が濃い内容で、有意義なものでした。ベンチャーになって二回目の全国規模の大会で、前回の大会で出会った友達と再会できてうれしく感じました。これからもこのような大会に参加していきたいと思いました。

プログラムでは、一泊二日のピバークが特に印象に残っています。山中湖をイカダで渡り、山を四つ上ってピバーク、翌日にハイキングしてまたイカダで戻ってくるというものでした。5、6日目だったので、それまでの4日間の集大成ということもあり、段違いの達成感がありました。

いかだや信号塔の作成など、なかなかできない大規模な活動を経験して、スキル面で大きく成長できたと思います。また普段のキャンプ生活の中でも周りを見渡す力、さりげなく動ける力が前よりもついたと思います。しかし一番ステップアップしたのは精神面です。プログラムの中に自分が活躍できる場面がいくつかあり、そこで自分から動くことで自分では足りないと感じていた自信や積極性が増しました。日常生活でも消極的な方だったので、自分のこれからはにおいても大きな変化だと感じました。富士野営で芽生えたこの自信や積極性が持続されるように、今後も様々な活動を行っていきたいです。



いかだで湖を渡りきる！



日本ジャンボレット高萩2017

Ⅰ 5-1. 音楽の力、縁の下で

彦根第1団 団委員 中村 直樹

8月4日の早朝、高萩に到着すると新しく恒久的なアリーナが目に飛び込んできました。そして、本部となる素晴らしい宿泊棟が光を放ち、奥まった先には山道が新しく作られており、登山道が上がると尾根にはいろいろな造作物がスカウトのハイキングを待っていました。私は神奈川のチームに所属させていただき、BS活動サービス、全体行事でのスカウトソングのトランペット、朝礼のソングではギターとキーボードで伴奏を務め、雰囲気作りにも貢献できたと思います。最終日には、BSスカウトとリーダーを対象にスカウトソングの集い「ジャンボレットソングパーティ」を横浜の木山さんと立案して実施することができました。

開会式では、滋賀連盟の旗手を浅井君が務めるにあたって相談しながら一緒に準備を行い、旗手が素晴らしい所作振る舞いで滋賀連盟旗を示すことができました。閉会式は台風のために6時間早く行われ、長い六角形の屋根のスカウトホールで急きょ書かれた台本を演出することになり、村上智真エールマスター指揮の「この道を行く」のプロンプター（先読み）と最後のところでスカウトソング「友情」のトランペット演奏を行いました。その後、スカウトを対象に閉会式を兼ねた表彰式が行われ、トランペットによる閉会のファンファーレと最後を締めくくるため「光の路」を演奏したところ自然にスカウト全員からも大きな歌声が湧き起り、初めて行われた高萩での日本ジャンボレット大会のふさわしい締めくくりになりました。

日本のスカウト活動に素晴らしい拠点となる「高萩野営場」に集まったBVS、CS、BS、VSの成長が期待できること、そしてローパーとリーダーが同じように楽しく汗を流し結束を誓い合えたことで、良い時間が共有できました。



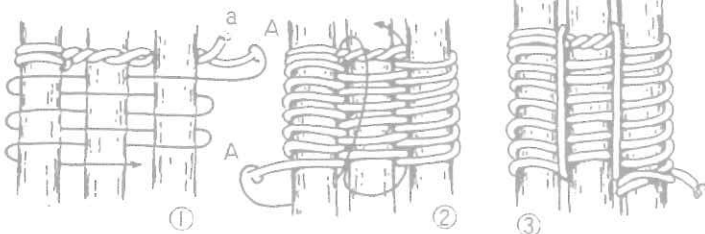
次世代を担う青年たち



トランペットを高らかに鳴らす中村さん

・8の字しばり THE FIGURE-OF EIGHT LASHING

柱の頭を一緒にしてかなえ、または3つの足を組むのに使う。



Ⅰ 5-2. 若人として、指導者として

湖南第1団 ベンチャー隊 浅井 駿太

この夏、私は日本ジャンボレット高萩2017へ本部スタッフとして参加しました。西日本からのローパー参加者は私だけで、新鮮な環境に身を置くことになりました。派遣先はBS活動サービス部という部署で主にBS向けのプログラム展開や掲示板を使って大会中の情報を発信するなどの役割で、私が配置されたのがローパーで構成された場外プログラム「タカハギ村を救え」でした。一日一日出た課題を夜に話し合い、翌日に活かせるよう試行錯誤した時間はとても有意義でした。

私が所属したBS活動サービス部は、素晴らしい部署であったと思っています。朝4時や夕方に2度ある配給を積極的に全員でお手伝いしたり、栄養面を考えたオリジナル献立を提供してくれる方がいたり、ローパーでジャンボレットのキャラに命名する広報部を手伝ったりして大会全体を支えていたからです。この経験を滋賀県キャンボリーで活かすことができました。私はこの大会に参加し心の底から満足です。



ばっちり交流も深めてきました

滋賀県キャンポリー

■ 6-1. UP TO YOU ～さあ、きみしだいだ～

第10回滋賀県キャンポリー2017 in KUTSUKI 広報部



第10回滋賀スカウトキャンポリーは滋賀のボーイスカウトが第17回日本スカウトジャンポリー開催の前年に一堂に集い、日々の活動で身に付けた『スカウト精神』と『スカウト技能』（キャンプ技能）を基調に、『ちかい』『おきて』の実践を通じて班のチームワークを築きあげ、より技能の向上と友情を深めるキャンプ大会とする。

1st day

雨が降り蒸し暑い中、汗を流しながら、サイトまで大きな荷物を運び、テントを立てました。開会式は、雰囲気のある式典となりました。



県キャンポリーシンボルデザインを考案したカブスカウトおめでとう！



栗東第8団のみんなより「キャンプを楽しむ!!」と今回のキャンポリーへの意気込みをしていたよ

2nd day

プログラム開始！それぞれに培ってきた技能をここで発揮し、各国が交流することができたよ。

斜面のため色んな工夫が施されていたテントサイト。料理もおいしく作れたよ。



女の子たちより「タープが飛んだ!」とひとこと。風がとっても強かったね～



女の子たちより「タープが飛んだ!」とひとこと。風がとっても強かったね

3rd day



シャワークライミングでみんな大はしゃぎ! 川には、河童のガワ太郎が…



夜には、音楽に乗りみんなでワイワイ盛り上がったよ。35億…もしかしてこれは(笑)

4th day



ついに最終日、仲間と過ごしたこの夏の思い出は絶対忘れない! ありがとう イヤーサカ!



◎ サイト作りにそれぞれの団の色が出ていて、どれも面白かったです。
守山第1団 山本 菜生

◎ 今回のキャンポリーで沢山のスカウトの笑顔が見れて嬉しかったです。
栗東第8団 井上 寿々花

迷たんけんコナン2017*

Ⅰ 7-1. 森の中でチビッコパワー全開

ボーイスカウト滋賀連盟湖南 地区委員長 船田 勉

台風のためやむなく延期となり、当初予定していた参加者数に届きませんでしたが、100人を超える参加があり大変良かったと思っています。計画段階から地区内の指導者の交流が図られ、スカウトの喜ぶ

顔を思い浮かべながら、また当時の自分自身の悪ガキ姿を思い出しながら楽しんでいることに気が付きました。子供たちも日頃なかなかできない活動に挑戦することで、また、初めての経験・体験ができて大変良かったことでしょう。終わってから感想を聞いたところ、みんな大変面白かったという答えが返ってきました。来年もできることを願いながら頑張りたいと思います。



さあ、みんなで仲良く出発だ!

慎重に…慎重に…



おとっと、落ちないように気を付けて



目的地まであと少しだ…頑張れ!



ロケットを打ち上げます。飛べー!



メダルをゲット! やったね

*ビーバー隊 (幼稚園年長から小学校1年生) 並びにカブ隊 (小学校2年生から5年生) のスカウトが滋賀県連の浅柄野キャンプ場に集まりスカウトの祭典を盛り上げ、共に楽しみ、親交を深めるとともに、スカウト仲間の友情を高めることを目的に開催されました。



8-1. ワクワク、ドキドキ、初めての無線

草津第14団 副団委員長 船田 勉

草津第14団カブ隊くまスカウト（小学校5年生）4名が6月に行われた滋賀県連主催のアマチュア無線講習会に参加し国家試験に挑戦、見事全員合格しました。そして10月21日に初めてJOTA（ジャンボリー・オ



無線技士免許をいただきました

9-1. やっぱり「来てよかった」

犬上第1団 ポーイ隊副長 大塚 聖子

ボーイスカウト×ユニクロ：難民支援衣料回収プロジェクト・ワークショップに、犬上第1団と水戸第5団の2団だけの参加で、最初はどうなるだろうと思いましたが、ワークショップの進行がとても入りやすく、スカウトたちも熱心に取り組めたように感じています。自団の取り組み発表は、約40人の前で、驚きと緊張を隠し切れませんでした。実際私も内心は大丈夫かな？と思いましたが、「君たちなら大丈夫ー！」と励まし、発表の段階になると、心配も吹き飛ぶくらいの堂々とした発表でした。また、実際に難民の方と交流をさせていただき、人として生きていく上で、ニーズはどの人も変わらず同じなのだと思実感できました。スカウトたちも同じ気持ちを持ってくれたのではないかと思います。

スカウトは、交流した方から、自国の衣装を写真などで教えてもらったようです。通訳の方からの話では、英語だけでなく、様々な言語でコミュニケーションをとらなければならない中、言語が片言でも通じたらいいなあという気持ちが大切で、コミュニケーションが次第にとれるようになっていくといったお話を聞くことができました。このような交流で、難民支援にはまだまだいろいろな形があることを知ることができたのではないかと感じます。

ユニクロ社は、支援の大きな形として「衣」に着目され、難民支援の一助を担っておられること、そこにボーイスカウト自分たちも支援の一部であることを知る機会をいただきました。この訪問で得た学びを自団のスカウトにぜひ伝えたいと思います。最後に、スカウトたちが「今、自分にできること」「将来、自分にできること」をしっかりと考えて、成長していったほしいと願っています。



堂々と発表

ン・ジ・エアー）に参加しました。免許を取って、初めて無線機に向かい初めて交信を行う緊張の中、何を話せばよいかかわからずリーダーに救いを求めながらも交信・会話を楽しんでいました。この経験を活かしてボーイスカウト活動の魅力を広くみんなに伝えてくれることと思います。



こちらボーイスカウト滋賀連盟無線局です

*カブ隊のチャレンジ章「通信博士」の取得と国家試験にも挑戦すること目的としました。

編集後記

- ◎ みなさん忙しい中での編集作業。大変でしたがよい経験になりました。ありがとうございました。 大津第1団ローパー隊 堀本信弥
- ◎ 今回で3回目の編集になります。今までの経験を活かしてより良いものになりました。 大津第12団ローパー隊 船橋勇一郎
- ◎ 編集に、ローパー諸君と係わり3回目。この体験を次のローパーへ繋げたい。 組織拡充・広報副委員長 今北絏一
- ◎ 盛り沢山の内容提供いただきありがとうございました。編集経験を活かそう！ 組織拡充・広報委員長 山本健二

寄稿者におことわり

昨年は、モンゴル、米国、韓国への海外派遣そして国内では富士特別野営2017、日本ジャンボレット高萩2017に派遣、県内では滋賀県キャンボリー in KUTSUKI、迷たんけんコナンなど数多くのイベントが開催されました。

編集趣旨は、滋賀連盟内はもとより、対外的にもスカウト運動の精神を、より多くの人々にアピールしていこうとするものです。誰にも読みやすく分かりやすくするため、推敲を重ねておりますことをご理解ください。

日本ボーイスカウト滋賀連盟の運営に御協力いただきありがとうございます。（順不同）

● 日本ボーイスカウト滋賀連盟に協力していただいている団体

滋賀県	滋賀トヨペット(株)
美しい湖国をつくる会	滋賀銀行
日吉大社	関西アーバン銀行
建部大社	東洋ネーム工業
延暦寺	天台宗スカウト連合協議会